



◎図から読み取ろう

○県議 13 選挙区の定数をまとめよう。

選挙区	定数	政党別内訳
鳥栖市		
三養基郡		
神崎市・神埼郡		
佐賀市		
小城市		
多久市		
唐津市		
伊万里市		
西松浦郡		
武雄市		
杵島郡		
嬉野市		
鹿島市・藤津郡		
全議席数	38	

▽1△
選択の構図

県議選まで1年

13選挙区で38議席を争う2019年の佐賀県議選まで1年を切った。佐賀空港への自衛隊輸送機オスプレイ配備計画や九州新幹線長崎ルート整備方針など国策課題は正念場を迎え、国政では安倍1強への風当たりが増す中で野党再編が進む。県内各政党は昨秋の衆院選の影響も見極めつつ、戦略を練り始めている。

13選挙区で38議席を争う2019年の佐賀県議選まで1年を切った。佐賀空港への自衛隊輸送機オスプレイ配備計画や九州新幹線長崎ルート整備方針など国策課題は正念場を迎え、国政では安倍1強への風当たりが増す中で野党再編が進む。県内各政党は昨秋の衆院選の影響も見極めつつ、戦略を練り始めている。

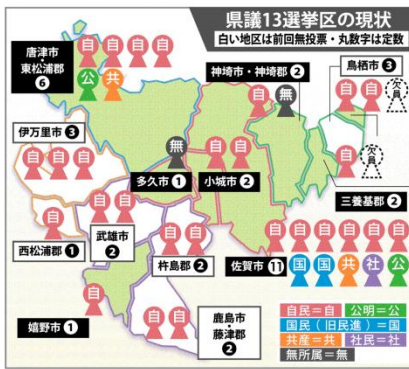
改選前の28議席から郡の会を含めて27議席に減らしている自民は、欠員の三養基郡を合わせて改選前以上を目指す。ただ、昨年秋の衆院選では選挙区とも敗れ、安倍政権下で加計・森友問題など政治不信を招く事態も続き、県連の留守専事会長は「いつになく厳しい」と危機感を強めている。今年実施されたら市町の首長選が激戦だったこと

げした国民民主の2人、社民党1人、無所属1人で構成する。公明党と共産党は各2人で、一人会派は「自民党・郵の会、無所属の二真の会」がある。任期は19年4月29日まで、満了日前の30日以内に選挙がある。改選前の28議席から郡の会を含めて27議席に減らしている自民は、欠員の三養基郡を合わせて改選前以上を目指す。ただ、昨年秋の衆院選では選挙区とも敗れ、安倍政権下で加計・森友問題など政治不信を招く事態も続き、県連の留守専事会長は「いつになく厳しい」と危機感を強めている。今年実施されたら市町の首長選が激戦だったこと

とも懸念材料の一つに挙げられる。佐賀市と唐津市・東松浦郡で計2議席を獲得した公明は現状維持が目標だ。来年の参院選もらんで準備を前倒しして、

し、支持を広げられるかが重要になる」と話す。佐賀市と唐津市・東松浦郡で計2議席を獲得した公明は現状維持が目標だ。来年の参院選もらんで準備を前倒しして、

と、懸念材料の一つに挙げられる。佐賀市と唐津市・東松浦郡で計2議席を獲得した公明は現状維持が目標だ。来年の参院選もらんで準備を前倒しして、



国民民主 新人擁立を模索

4月下旬に現職の公認を決定した。旧民進所属の地方議員が加わる国民は、県内で20日に開く結成大会以降、県議選に向けた活動も本格化させる。前回衆院選では佐賀市の現有2議席に加え、現職が死去して欠員になった鳥栖市での議席確保を最重要課題に据える。県議がいらない衆院佐賀2区での議席獲得に向け、唐津市・東松浦郡など複数定数区でも候補の擁立を模索する。共産は、佐賀市と前回は初めて議席を確保した唐津市・東松浦郡の現職2人を3月に公認。単独で

県議会の委員会に理事が出せる4議席を目指す。が、厳しい観測もあり、新たに候補を立てるかどうかを5月下旬の県定期大会までに判断する。社民は、佐賀市の現職の公認を既に決定した。鳥栖市と唐津市・東松浦郡でも候補擁立に向けた検討を進めているが、国政選挙と同様に国民との協議も示唆する。前回15年の選挙は鳥栖市、伊万里市、武雄市、鹿島市、藤津郡、西松浦郡、杵島郡の6選挙区13人が無投票だった。県議の一人は「緊張感を持って執行部と向き合ったため、選挙での県民の負託は不可欠」と強調する。(林大介、山本礼史、大橋諒)

自民、28議席以上目標

(佐賀新聞 2018.5.9付)

◎記事から読み取ろう

○5月10日以降の記事から自分の住んでいる地域の選挙区の情勢をまとめてみよう。() 選挙区

◎自分の考えをまとめよう

*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○自分の住んでいる地域について、どんな要望・希望・期待がありますか。(どんなことを実現してほしいですか)。

*自分の住んでいる地域の選挙区に印をつけよう。